

ササニシキ ファンクラブ通信

作りつづけて! ササニシキ

第3号
2009年6月

事務局
だよ!

きびしい天候の中、収穫できました!

去年は生産者も経験した事が無いような天候続きでどうなる事かと心配ばかりの米作りでした。種まきからのひと月は晴天が続き、苗が暑さに負けてしまうのではとハラハラしていましたが、いざ田植えをすると4月の天気が嘘のように寒く強風が続く毎日でした。苗も育ちが遅く、不作が頭をちらつきはじめた頃ようやく天気は回復し、出遅れを取り戻すような成長を見せてくれました。しかし、農家の悩みは尽きません。暑い夏が続く中、今度は近年悩まされている高温障害がでるのではないかと不安にかられます。結果的にはお盆を過ぎた頃からめっきり気温が下がり、早い秋の訪れとなった去年はいつにないきれいなササニシキが収穫できました。人の都合ではどうにもならない分、いいお米が収穫できた喜びはひとしおです。自慢のササニシキをおなかいっぱい食べて下さい。

今年も美味しいササニシキ作るよ!

去年は天候に恵まれ(?)、豊作となりましたが、作付面積が減少しているため出荷量は3,300俵と生活クラブの皆さんに1年間食べてもらうだけのお米が作れていません。現在は35名でササニシキを作っていますが、もう少し仲間を増やしササニシキを植える田んぼを増やして、1年間安心して食べてもらえるようにしていきたいと考えています。

共同開発米部会として遊YOU米の生産拡大と農法の推進を進めていく中で、徐々にササニシキの生産者も減少してきましたが、今年からはササニシキの生産者が集まり、共同開発米部会の中に「ササニシキの会」を正式に立ち上げ、ササニシキ栽培を担っています。皆さんの町での交流会や、遊佐での交流会を通じてみなさんともっと直接の交流会が出来ればと思っています。

ササニシキを作りつづけます



ササニシキの会・会長
堀賀多志

鳥海山の雪とみどり、平野には田んぼのみどりで目にやさしい「ふるさと遊佐」をいつも眺めながら農作業をしているこのごろです。「ササニシキの会」会長として選ばれましたが、いままでやってきた事を続けていくしかないものですから過大な期待には応えられるかどうか不安です。

私たち「ササニシキの会」は現在35名で事業をしています。こだわりのあるメンバーがほとんどです。先日も技術研修会と称して集まったのですが、それぞれの技術があり、楽しい集会でした。今後も、遊佐の大豆や米ぬかペレットと有機肥料の「味好特号」を肥料として使う実験を進めてこだわりの米を作って生きたいと思えます。

ササニシキファンクラブ通信で皆さんからメッセージを頂きとても感謝しております。その中の一つに、こんなメッセージをいただきました。

「我が家は20年間生活クラブのササニシキを食べています。まだ学生だった娘が「〇〇さんのお弁当 お米がピッカピッカに光ってるねと言われた」と満面の笑みで言っていたのを思い出します。」娘さんはすごうれしかったですよね。

もう一つ生産の現場での話はなし。40年間ササニシキだけを作り続けた佐藤良悦さんと偶然農協でお会いした時に「今年のササはいい!!今までこったげいいササはみだごどね」と残し、昨秋残念にも、なくなられたのですが私は、その言葉を忘れる事が出来ません。そのササニシキをこえて、喜んでもらえるお子さんのためにピッカピッカに光るササニシキを作る努力をしています。

ササニシキの生産者へ メッセージを送ろう!



あなたの名前;

所属単協;

まち/支部;